

研究実施のお知らせ

2023 年 4 月 11 日 ver.1.1

研究課題名

タイチン血中濃度の臨床的意義

研究の対象となる方

2018 年から 2019 年までの 2 年間に住民健診に参加した方のうち、島根大学医学部地域医療包括ケア教育研究センターの説明同意のもとに研究に参加し（研究課題名：生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究）、採血を行った方

研究の目的・意義

本研究は、日本人における血中タイチン濃度の臨床的意義を明らかにすることを目的としています。タイチンは骨格筋に発現する筋蛋白で、筋分解により逸脱します。尿中タイチン濃度はサルコペニアや安静等による筋萎縮の予測マーカーとなりうるかと報告されていますが、血中濃度については明らかではありません。本研究成果は、島根県はもとより日本の健康長寿社会の実現に向けての基礎的な資料となります。

研究の方法

上記の採血サンプルを対象に、血中タイチン濃度を新たに開発された測定キットで測定し、年代別、性別、腎機能別に比較します。また、体組成検査による四肢筋肉量や筋力との関連について調べます。タイチン濃度の測定は神戸常盤大学で行いますので、血清を神戸常盤大学に送付し、タイチンを測定後、残りの血清サンプルは、結果とともに島根大学医学部に返送して保管します。本研究は、島根大学医学部医学研究倫理委員会の承認を受け、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」に従って、氏名と生年月日を削除し、研究用の ID を付与した情報を用いて行います。データは、島根大学医学部臨床検査医学講座内のパソコンで、個人が特定できる情報を加工・削除した情報を使用するため、個人が特定される心配はありません。データは、パスワード付きの光ディスクの記録メディアに保管して、手渡しにより提供を受けます。

利用する情報は、以下の通りです。

研究用管理番号、採血管理番号、健診日、健診地域、年齢、性別、身長、体重、BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、尿蛋白、尿糖、尿潜血、尿中ナトリウム、尿中カリウム、尿中クレアチニン、推定塩分摂取量、HDL コレステロール、LDL コレステロ

ール、中性脂肪、AST、ALT、 γ -GTP、血糖、HbA1c、既往疾患（脳卒中、心臓病、腎不全、貧血）、タバコ、20歳以降の体重増加、運動量、身体活動量、メディア接触状況、体重増減、食事速度、夕食、間食、朝食、睡眠、飲酒量、保健指導、eGFR、治療状況（高血圧、脂質異常、糖尿病、痛風、脳血管障害、心疾患、血管病、腎泌尿器疾患、肝臓病、胃腸疾患、内分泌疾患、骨運動器疾患、がん、アレルギー疾患）、月経状況（女性のみ）、転倒回数、転倒恐怖、骨折状況、運動器の痛み、体脂肪率、筋肉量、握力、歩行速度

研究の期間

2023年1月（研究許可後）～2028年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者（総括責任者）

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

研究責任者

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

神戸常盤大学保健科学部医療検査学科 大澤佳代

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関]

[提供担当者]

島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター 安部孝文

[機関の長]

鬼形和道

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、島根大学医学部附属病院検査部へ2023年12月末までにお願いたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20-2409 FAX：0853-20-2409